

## headline

- ☑️ ご存知ですか？10月は「食品ロス削減の啓発月間」です（農水省）
- ☑️ 「第13回3R推進全国大会in富山」が10月12日（金）に開催されます
- ☑️ 事業報告、SEFからのお知らせ



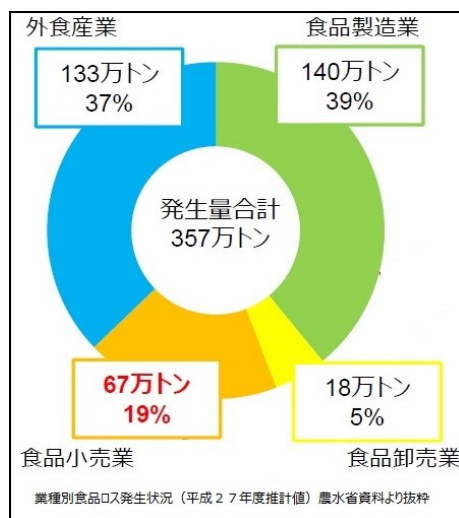
公益財団法人  
Save Earth Foundation

## トピックス ご存知ですか？10月は「食品ロス削減の啓発月間」です（農水省）

日本では、年間約646万トンもの食品ロスが発生していると推計されています（平成27年度推計値）。その内訳は食品産業から357万トン、家庭から289万トンとなっており、食品産業を業種別にみると、食品小売業と外食産業の割合が全体の過半数を占めているとの試算結果が出ています。

そこで、農水省では10月を「食品ロス削減の啓発月間」と定め、今回は家庭から出る食品ロスの量に大きく影響を与える食品小売業にスポットを当て、全国各地の小売店舗等に協力を呼びかけ、ポスター等による啓発活動を実施します。また、岩手県や大阪府などの地方自治体では、外食店舗における食品ロス削減のキャンペーンも合わせて展開しています。

農水省ホームページからダウンロードできる啓発ツールを活用し、食品ロスの削減を呼びかけていきましょう。



- ◆ 農水省「食品ロス削減の啓発月間」については下記リンクから詳細をご確認下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kankyoi/180926.html>

- ◆ 小売店舗向け啓発ツール：[http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku\\_loss/keihatsu.html](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/keihatsu.html)

- ◆ 外食店舗向け啓発ツール：[http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku\\_loss/161227\\_2.html](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/161227_2.html)

## トピックス 「第13回3R推進全国大会in富山」が10月12日（金）に開催されます

環境省、富山県、3R活動推進フォーラム主催による第13回3R推進全国大会が、10月12日（金）13時から、富山国際会議場（富山市内）において開催されます。

今年度の大会では、「富山から世界に！みんなでつなぐ3Rの未来」をスローガンに、海洋プラスチックごみの削減やプラスチックの3R、小型家電リサイクルや食品ロス削減等について、先進的な取組の発表やパネルディスカッションを含めた記念シンポジウムが行われるほか、循環型社会形成推進功労者や3R促進ポスターコンクール最優秀賞の表彰を行います。様々な企業・団体による3Rの取組についてのブース展示も行われます。

また、当日の午前中には富山市エコタウンの施設見学会も開催予定です。いずれも参加は無料ですが、事前の登録が必要です（先着順）。詳しくは下記リンクから主催者ホームページをご覧ください。

- ◆ 第13回3R推進全国大会in富山：[http://3r-forum.jp/activity/meeting/013\\_2018.html](http://3r-forum.jp/activity/meeting/013_2018.html)

10月は3R推進月間です。「富山から世界に！みんなでつなぐ3Rの未来」

第13回 in 富山 平成30年 10/12(金) 13:00~17:00 (富山国際会議場)

会場 富山国際会議場 大手町フォーラム 入場無料 定員500名

お申し込みは大会実行委員会事務局へ。

第10部 13:00~14:05 式典 ■循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰 ■3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰

第11部 14:15~16:55 記念シンポジウム

■基調講演1 「富山県における3Rの取組み」 富山県知事 石井 隆一氏  
 ■事例発表1 3Rに取り組み富山県内の団体・事業者  
 ■事例発表2 沖縄県環境部環境整備課長 松田了氏  
 ■基調講演2 「SDGs時代の改正循環計画と3Rの推進」 慶應義塾大学経済学部教授・3R活動推進フォーラム会長 細田 隆士氏

パネルディスカッション ～資源効率性を高めた地域循環共生圏の形成～  
 エコタウン・富山県環境文化センターの取組について 富山県 細田 隆士氏  
 パナソニック 全国環境人財育成推進部長 松田了氏  
 富山県環境部 部長 松田了氏  
 富山県経済部 部長 松田了氏  
 富山県環境文化センター 代表取締役 細田 隆士氏  
 環境省 富山県

## 9月18日（火）「電子マニフェスト導入・運用セミナー」を開催しました

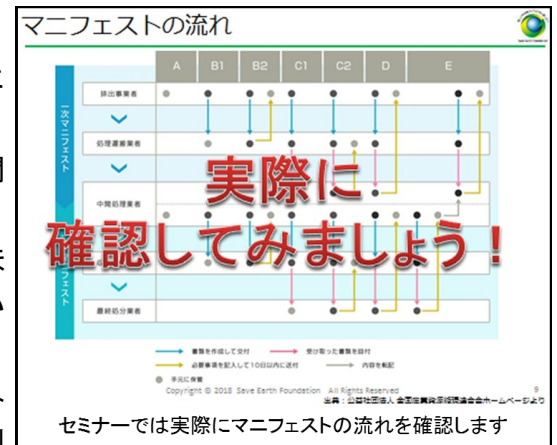
SEFでは、本年度の普及啓発活動の一つの柱として、産業廃棄物の処理を委託する際に必ず必要となる「マニフェスト」の運用管理に焦点を当て、マニフェスト制度の概要と電子マニフェストの仕組み、またその効率的かつ順法的な運用方法を提案するセミナーを開催しています。

9月18日に開催した第3回セミナーには、食品小売業、外食産業のほか、印刷業において廃棄物管理業務を担当する方々にもお集まりいただきました。

導入ではマニフェスト制度の概要をおさらいしたのち、実際のごみとマニフェスト伝票を用いてロールプレイを行い、マニフェスト制度の複雑さを体感していただいたうえで、電子マニフェスト運用のメリット・デメリットを確認しました。

また、マニフェスト運用における排出事業者の違反事例を紹介し、リスク管理の重要性をご確認いただいたうえで、電子マニフェストの運用管理を含めた廃棄物の適正管理手法をご提案しました。また、アジア諸国における廃プラスチックの輸入規制が与える影響など、廃棄物に関する最新情報のご提供もさせていただきました。

アンケートでは前回に続き、全ての参加者から「非常に有意義だった」との回答をいただきました。また、「マニフェスト制度自体の理解が深まった」「マニフェスト運用のポイントがよくわかった」「電子マニフェスト導入のメリットを感じた」など、好評のお声をいただきました。



## SEFからの【次回は10月18日（木）】電子マニフェスト おしらせ 導入・運用セミナー 参加者募集中！

産業廃棄物の処理を委託する際に必ず必要となる「マニフェスト」。このマニフェストの電子化は、行政からの要請への対応だけでなく、排出事業者の廃棄物管理担当者の皆様にとっても、日々の業務の効率化につながります。

このセミナーでは、マニフェスト制度の概要や電子マニフェスト化のメリットと導入方法についておさらいしたうえで、マニフェストだけでなく廃棄物全体の適正管理という視点から、システムを活用した管理手法をご提案します。



### 【こんな方にオススメ】

- ◆そもそもマニフェストって何？制度について知りたい
- ◆電子マニフェストの導入を検討中である
- ◆電子マニフェストの義務化に不安を感じている
- ◆電子マニフェストを導入したが運用管理に課題がある

【日 程】 10月18日（木） 16：00～17：30（受付15：30～）

【会 場】 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）セミナースペース

【定 員】 20名（先着順、1社2名様までとさせていただきます）

【参加費】 無料

詳しいご案内やお申込み方法は、SEFホームページをご覧ください。<http://save-earth.or.jp/archives/5580>



## 森林再生事業 活動報告

# 【日向の森（千葉県山武市）】「秋の森を楽しもう！親子で森林体験in日向の森」を開催

昨年春と秋に1回ずつ開催している「親子で森林体験」。天候に恵まれ、これまで最多の14組44名様にお集まりいただきました。



山仕事体験では、子どもたちが力を合わせて間伐を行いました。木が倒れた時の「ドーン」という音に大興奮。森歩きでは、生き物観察の専門家の先生と一緒に、ビンゴカードを使って自然観察をしました。広場では森のクラフトづくりと、間伐材の薪で焼いたピザとキッシュをお召し上がりいただきました。参加者からはとても楽しかったというお声をいただくことができました。森を駆け回る子供たちの元気な姿を見て、私たちも元気を分けてもらったような素敵な一日となりました。

※このイベントは（公社）国土緑化推進機構「緑の募金」の助成を受けています。

## SEFからの おしらせ

# 【東御の森（長野県東御市）】里山おさんぽ会～東御の森を歩いてみよう～を開催

去る9月9日（土）、東御市内外の親子に森の自然を楽しんでいただく森のおさんぽ会を開催。植物や昆虫の話しながらの散策、川での活動などを行いました。



東御市の（公財）身体教育医学研究所スタッフや市役所農林課職員と一緒に企画し、プログラムは森の自然環境調査を委託している（株）Biotop Guildに提供していただきました。

SEFは「森の話・野鳥観察・水生生物観察」の運営を担当。トビゲラやヤゴなどの水生生物を顕微鏡で観察する体験は、付き添いのお父さんも興味津々。子どもが楽しみながら草木とふれあえるような話をもっとききたい、森の手入れについても聞きたいなどの感想も寄せられました。

※この企画は（公社）国土緑化推進機構「水と緑の森林ファンド」の助成を受けています。



## SEFからの お知らせ 【千葉県山武市】11月23日、24日「6歳になったら 机を作ろう！机作りin山武」参加者募集中！

SEFでは来る11月23日（金）と24日（土）に、親子お出かけ情報サイト「いこーよ」とのコラボレーションで「6歳になったら机を作ろう！」を開催します。

ふるさとの森で育った木材を使って、親子で力を合わせて学習机を手作りする「6歳になったら机を作ろう！」。山武市では今年5月に初めて開催し、3組の親子に参加いただきました。物を大切にする心を育み、さらに地元の森で育った間伐材を使用することで、「山→川→海」の恵みとつながりを感じ、次世代にこの日本の豊かさをつないでいこう！という活動です。

机のサイズは幅100cm×奥行60cm×高さ70cm。ノコギリやハンマー、インパクトドライバーなどの本格的な工具を使い、世界に一つだけのマイ学習机を、親子で力を合わせて作ります。

23日（金）は山武市産業まつりの会場内にて、24日（土）は日向の森での森歩き・木こり体験のあと、それぞれ机作りに挑戦します。

詳しい内容は下記リンクからSEFホームページをご覧ください。お申込みは先着順ですので、お早目にお申込み下さい！<https://save-earth.or.jp/archives/5611>



## SEFからの お知らせ 10月・11月 森林保全活動のお知らせ ★★★★ボランティア募集中！★★★★



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを随時募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日（東京駅から送迎いたします！）に定例活動を行っているほか、兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的実施しています。

直近の活動は下記を予定していますので、ぜひご参加ください。

### <10・11月の活動予定>

千葉県山武市  
10月27日（土） | 11月10日（土）、24日（土）

大分県臼杵市  
11月17日（土）

※日程は変更となる可能性があります。  
最新の情報はホームページを参照ください。

ホームページはコチラをクリック…<https://goo.gl/uEt3CZ>

